別海町立野付小学校　学校便り

三角帆

◆発行責任者　校　長　青坂　信司

◆発　行　日　平成２４年２月１日

平成２３年度学校テーマ「学び続ける学校」　第１１号

学校に期待すること
子どもに期待すること

校　長　青坂　信司

◆学校には、教育目標というのがあります。この教育目標を達成するために、さまざまな教育活動が計画され、実践されています。本校の、現在の教育目標は、「広い心とたくましい体力で未来を創造する児童の育成」というものです。この教育目標は、昭和５５年、今から３１年以上前に決められたものです。

◆昭和から平成になり、２０世紀から２１世紀になったにも関わらず、このままの教育目標でいいのだろうかという思いから、見直しをかけることにしました。それが１年も前のことでした。

◆この１年間、野付の子どもの長所と短所を全教職員で話し合ったり、子ども達やご家庭の皆様方にアンケートをとったりしてきました。また、現在の社会情勢や今後必要となるだろう生き抜く力についても分析してきました。

◆さて、ご家庭の皆様方に実施したアンケートの設問の中に、小学校教育で大事だと思われることに順番をつけてもらったものがあります。学校側で六つの項目を挙げ順位をつけてもらいました。その６項目とは次のものです。
「学力をつける」
「道徳性を育てる」
「情操をつちかう」
「人間関係（社会性）を育てる」
「自主的態度を育てる」
「健康な体を育てる」

◆さて、この中でご家庭の皆様方が選択した１位は何だったと思いますか。「やはり、勉強に関する学力をつけることを学校に一番期待しているんじゃないの」「いや、最近は社会的にも心に関することが話題になるから、心を育ててほしいと思っているんじゃない」「いや、健康面だ」「いや社会性では」と様々な意見が出てきそうです。

◆アンケートの結果、以下のとおりとなりました。

１位「人間関係（社会性）を育てる」150ポイント
２位「学力をつける」128ポイント
３位「道徳性を育てる」103ポイント
４位「健康な体を育てる」71ポイント
５位「自主的態度を育てる」49ポイント
６位「情操をつちかう」9ポイント

◆学力や道徳性をおさえて、人間関係（社会性）を育てることを学校に一番期待しているという結果になりました。私としては、ちょっと意外でした。

◆もう一つ、ご家庭の皆様方に質問した項目があります。それは、野付の子ども達に対して、どのような子どもになってほしいのか、というものです。結果は、次の通りです。※２１項目から四つ選択するという形式です。

１位「健康で丈夫な体を持った子」
２位「基礎学力の読み・書き・計算がきちんとできる子」
３位「だれにも親切でやさしく、明るく和やかな子」
４位「どんな困難にもへこたれない、たくましく強い心を持った子」
５位「自分の夢を持ち、あきらめず努力を続けることができる子」
５位「言葉遣いや礼儀の正しい子」
※以下、略

◆学校に期待することと、子どもに期待することが違っています。これは何故でしょう。推測するに、きっとこれは、「健康で丈夫な体を持った子」を育てるのは、学校だけの責任ではなく家庭の責任なのだ。子どもの社会性は家庭では育てにくいから学校で頑張って身につけさせてほしい、と考えているからではないでしょうか。これは大変納得する結果です。それぞれの責任と役割が見えてきます。２月中には、アンケート結果を生かしながら、新しい教育目標を設定する予定です。